



# 立志 栗中だより

学校だより  
足立区立栗島中学校  
校長 豊崎 努  
令和6年7月10日  
<http://www.adachi.ed.jp/adkuri/>

地図とナビゲーションシステム

校長 豊崎 努

現在、多くの車に搭載されているものにカーナビゲーションシステム（カーナビ）があります。どこかに行きたい時、最寄りの施設を探したい時にとっても便利なもので、一度使い慣れるとなくてはならないものになるようです。

私がカーナビを自分の車につけたのは20世紀の終わりの頃。新しいもの好きの私は、ようやく手の届きそうな価格になったカーナビが我が車に取り付けられるのを、カー用品店でワクワクしながら見ていたことを覚えています。そしてその夏、カーナビの便利さを堪能したい気持ちもあって、北海道への車での旅を実行しました。フェリーで苫小牧に上陸し、道央・道東を巡って、釧路からフェリーで東京へ帰ってきました。確かに帰ってきましたが、なぜか、北海道での記憶が点々なのです。当時のアルバムを見ると、苫小牧、襟裳岬、広尾、阿寒湖、釧路湿原などで撮った写真が残っていますし、確かにそこでの記憶も残っています。しかし、その点と点をつなぐ線（移動経路）の記憶がすっぽりとなのです。

カーナビなどない時代、車の旅には地図が必携でした。国道〇号線を×まで向かい、△交差点で国道〇号線に入り……。目的地に間違いなくたどり着くために、今自分がどこにいて、どのような経路を行けばよいのかを、地図と格闘しながらたどっていったものです。今はカーナビに目的地を入力すれば、「〇m先左折です」など、ナビの案内に従って行けば間違いなく目的地に到達します。

私の初めての車での北海道旅行は、こうして、カーナビ任せでいたために、途中に通ったはずの日高も帯広も足寄も弟子屈も記憶に留まっていなかったということになったようです。

現在の学習指導要領が施行される頃から、中央教育審議会や文部科学省は「学びの地図」や「学びの羅針盤（羅針盤…方位磁針を想像してください）」という言葉を使っています。地図には場所の位置関係や道路、地形などが縮尺されて書かれていますし、羅針盤は方角が分かります。しかしこの二つを活用するためには「現在地」と「目的地」が分からなければなりません。「学びの地図」「学びの羅針盤」という表現の前提には、今の自分の力や在り方、これから何を求めるのかを自分自身がよく知ることが大切だということがあるのだと思います。そうすれば、自分で自由自在に地図と羅針盤を活用し、「どのように学ぶか」「何ができるようになるか」をくり返しなが、自分の未来を自分の力で切り拓いていける、そういう願いが込められていると考えます。

学習にも人生にも高性能なナビゲーションシステムはありません。あったところでその通り進んでいくことが楽しいかどうかは疑わしいような気が（私は）します。

生徒たちは44日間の夏休みに入ります。ぜひ一人一人が自分自身の地図と羅針盤を手に、充実した生活を送ってほしいと願っています。熱中症や寝不足などに気をつけて健康な毎日です！

●○9月の主な行事予定●○（詳しくは9月行事予定をご覧ください。）

2日（月）全校集会、避難訓練	4日（水）職員会議
5日（木）魚沼自然教室事前健康診断	11日（水）到達度確認テスト（英語・音楽）
12日（木）到達度確認テスト（社会・国語・技家）	13日（金）到達度確認テスト（理科・数学・保体）
18日（水）小中連携	19日（木）5組区陸上大会
20日（金）振替休業日（1年）	22日（日）魚沼自然教室（1年）
23日（月）魚沼自然教室（1年）	24日（火）食育朝礼、魚沼自然教室（1年）
25日（水）あだちからの日	26日（木）連合陸上大会
27日（金）生徒会役員選挙、英語検定（1次）	30日（月）振替休業日（1年）

6月24日（月）～26日（水）5組鋸南宿泊学習

5組は2泊3日で鋸南宿泊学習に行ってきました。直前の天気予報では雨も予測されていましたが、5組全生徒の思いが通じ、3日間晴天にも恵まれ、楽しく充実した宿泊学習となりました。

1日目は海ほたるで休憩をとり、千葉県最大規模を誇る熱帯園、アロハガーデンたてやまに行きました。そして、行く前から楽しみにしていたフラダンスを特別に鑑賞することができ、大満足の様子でした。夜には他校の生徒と交流会を行いました。ダンスとフライングディスクを披露し、大きな拍手をもらいました。

2日目はマザー牧場に行きました。動物のえさやり体験や羊のショーを鑑賞しました。そして、道の駅保田小学校でお土産を購入しました。心地よい風が吹く中、美しい自然に囲まれ、楽しいひとときでした。

3日目はふなばしアンデルセン公園に向かい、フィールドアスレチックで身体を動かし、他校の生徒とも交流を深めました。そして、体験学習では写真立てを夢中になって作りました。

学園での生活は2・3年生が1年生を上手にリードし、1年生の良い手本となりました。身の回りのことを全て自分でやること、それは今後の社会自立への第一歩となることでしょう。



6月24日（月）・25日（火）到達度確認テスト

1日目は国語・理科の2教科、2日目は英語・数学・社会の3教科を実施しました。1年生は特に中学生になって初めてのテストだったこともあり、緊張の表情を見せていました。この緊張感に触れることも、良い経験です。各学年、粘り強く取り組むことができました。

到達度テストは、今までの学習内容がどの程度定着しているのかを確認するためのテストです。そして、自分の得意・不得意を知るためのテストでもあります。点数だけにこだわらず、しっかりと振り返りを行い、



これからの学習に活かしてください。自分の結果と真摯に向き合い、どんな学習をどのように進めていくのかを、一人一人考えましょう。

3年生はこのテストが受験への第一歩です。ここがスタートです。この結果を客観的に捉え、今後の学習を効果的に進めてください。



7月2日（火）Tokyo Global Gateway

2年生は実践型英語体験教室TGGに、キャリア教育の一環として行ってきました。各クラス4つのグループに分かれ、イングリッシュスピーカーの指導のもと、オールイングリッシュで英語を学びました。



始めは英語を聞いたり話したりすることに戸惑っていましたが、自己紹介が終わる頃にはたくさんの笑顔と英語が飛び交っていました。飛行機内でCAとやりとりを体験したり、海外のレストランで自分が食べたいものを注文する体験をしたりしました。プログラムが終わる頃には、友達との会話でも英語を使う生徒もいました。今回の体験をきっかけに、さらに英語に興味をもち、海外にも目を向けてみてほしいです。

最後に行った振り返り学習では、ホワイトボードを使って、グループの友達と楽しそうに学習する姿に成長を感じました。コミュニケーションの大切さが身にしみた一日になったことでしょう。



